

❖ 障がいをもつ人に出会ったら

私達の生活の中で障がいをもって、学び働いている人が多くおられます。さまざまな障がいをもっている人と共に生きることが、いかに人間として重要な生き方であるか言うまでもありません。

あなたが、障がいをもっている人と出会ったとき、自然な態度で支えてあげられるように大切なマナーを身に付けてください。

❖ 視覚に障がいのある人に接するとき

- ① 基本姿勢として、誘導する人は目の不自由な人に、自分の肘を握らせてあげ少し前を歩きます。歩く速度には気をつけましょう。特に道路の段差や凹凸がある場合には言葉をかけましょう。一人しか通れない狭い場所では、誘導する人は手を後ろにまわして誘導しましょう。
- ② 階段の昇降や車の乗降、食事のときの食器位置などは、実際に手を触れて確認してもらうなど言葉と行動で誘導しましょう。



❖ 聴覚に障がいのある人に接するとき

外見上はどこにも障がいがないように見えますが、コミュニケーションが困難なため相手に最も適した手段で接しましょう。

- ① 話しかけるときは、必ずそばに行って、顔を見合わせてから話しましょう。
- ② 相手をわかろう、伝えようとする態度と気持ちをもつことが、相手の緊張をほぐしコミュニケーションが図れるようになります。
- ③ 障がいに応じて筆談、読話、手話などがあります。

❖ 肢体に障がいのある人に接するとき

- ① 車椅子を利用している人が支援を必要としていると思われる時、すすんで支援をしましょう。
- ② 車椅子を利用している人にはなるべく多くの人と協力して支援しましょう。
- ③ 障がいを負ったばかりの人は、心理的に打撃を受けていることを理解し、よき話し相手となって悩みを聞きましょう。



❖ 言語に障がいのある人に接するとき

- ① 短い言葉でゆっくりと相手の反応を確かめながら話しましょう。
- ② 相手を急がせたり、先読みしないよう気をつけましょう。
- ③ 「はい」か「いいえ」かで答えられるように話しましょう。
- ④ 相手の表情や、行動にも気をつけて、話していることをはっきり理解しましょう。
- ⑤ 50音表、絵カード、パソコンなどを利用するのもよいでしょう。

❖ 障がいをもつ人へのエチケットとして

- ① 相手の人格を尊重しましょう。
- ② 相手が必要としている支援だけを行い、支援が押しつけにならないようにしましょう。
- ③ 家族や周囲の人との協力や配慮も忘れずに行いましょう。
- ④ カウンセリングなど専門家のアドバイスを受けるのもよい方法です。
- ⑤ 支援を通して知った個人の秘密は決して他言してはいけません。